

授業科目名	シミュレーション学概説	必修の区分	
単位数	2.0	開講年次	1
講師名	畑 豊 藤原 義久 永野 康行 中村 知道 大野 暢亮 木村 真 沼田 龍介 安田 修悟 島 伸一郎 土居秀幸 井上寛康 鷲津仁志	所属	シミュレーション学研究科
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	Simulation Studies「シミュレーション学」は、理論や実験と並ぶ方法論として、自然科学だけにとどまらず、社会の持続可能性や環境問題など現実の課題解決への応用が期待されている。シミュレーション学とは、自然科学から社会科学まで科学的な方法論としてシミュレーションを活用していくものである。本講義は、各分野のシミュレーションの具体的な活用方法について基礎力を身につけ、修士研究を進めていくための素地を整えることを目的とする。研究室配属決定後は、各主指導教員から指導を受けながら各分野における基礎学力を身につけ、修士研究を進めていくための基礎学力を身につけることを到達目標としている。		
講義内容・授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. イントロダクション：本講義の目的と意義（教務委員長） 研究科の計算機器のガイダンス（情報システム委員）</li> <li>2. 文献調査に関するリテラシー（図書委員）</li> <li>3. 研究倫理（研究科長）</li> <li>4. 本研究科の教育ポリシーにおける研究室配属の意義を説明（教務委員長） 研究室配属アンケートの実施</li> <li>5. ~ 15. 配属された各主指導教員から指導を受けながら、各分野における基礎学力を身につけ、修士研究を進めていくための素地を整える。その際、学术论文（英文論文等）を読みレジメをまとめたの発表や、過去の学術研究をサーベイしてレポートを書くといったトレーニングを各研究室において実践する（全教員）</li> </ol>		
テキスト			
参考文献	適宜紹介する。		
成績評価の基準	学生の習熟度と学習態度により、総合的に評価する。評価が60点以上のものを合格とする。		
履修上の注意・履修要件			
地域に関する学修	該当しない。		
備考			